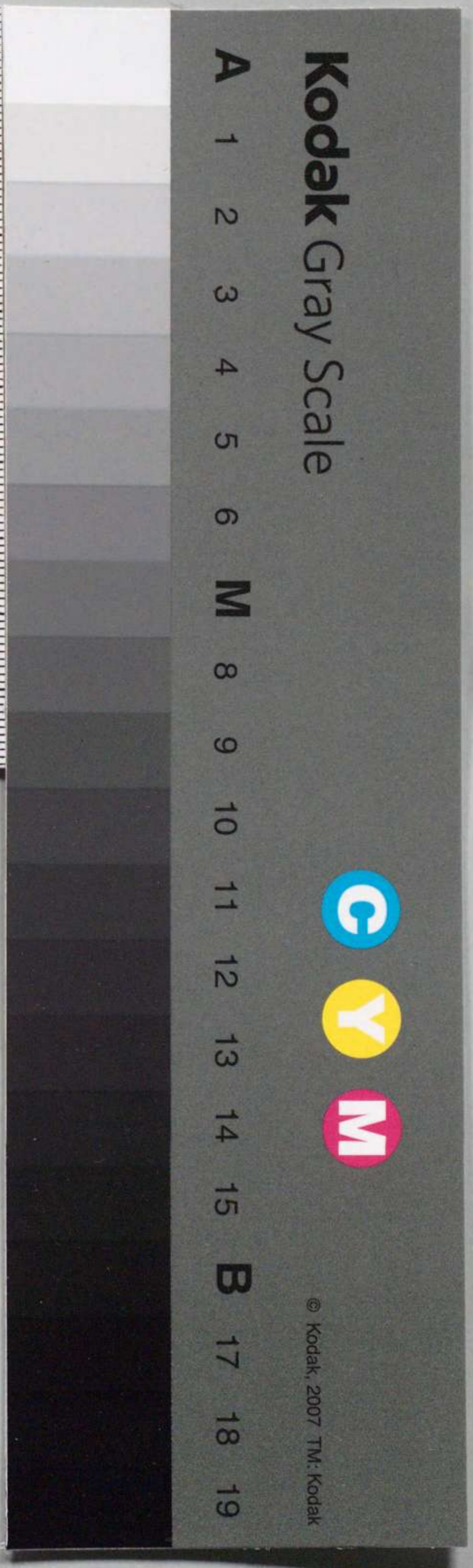
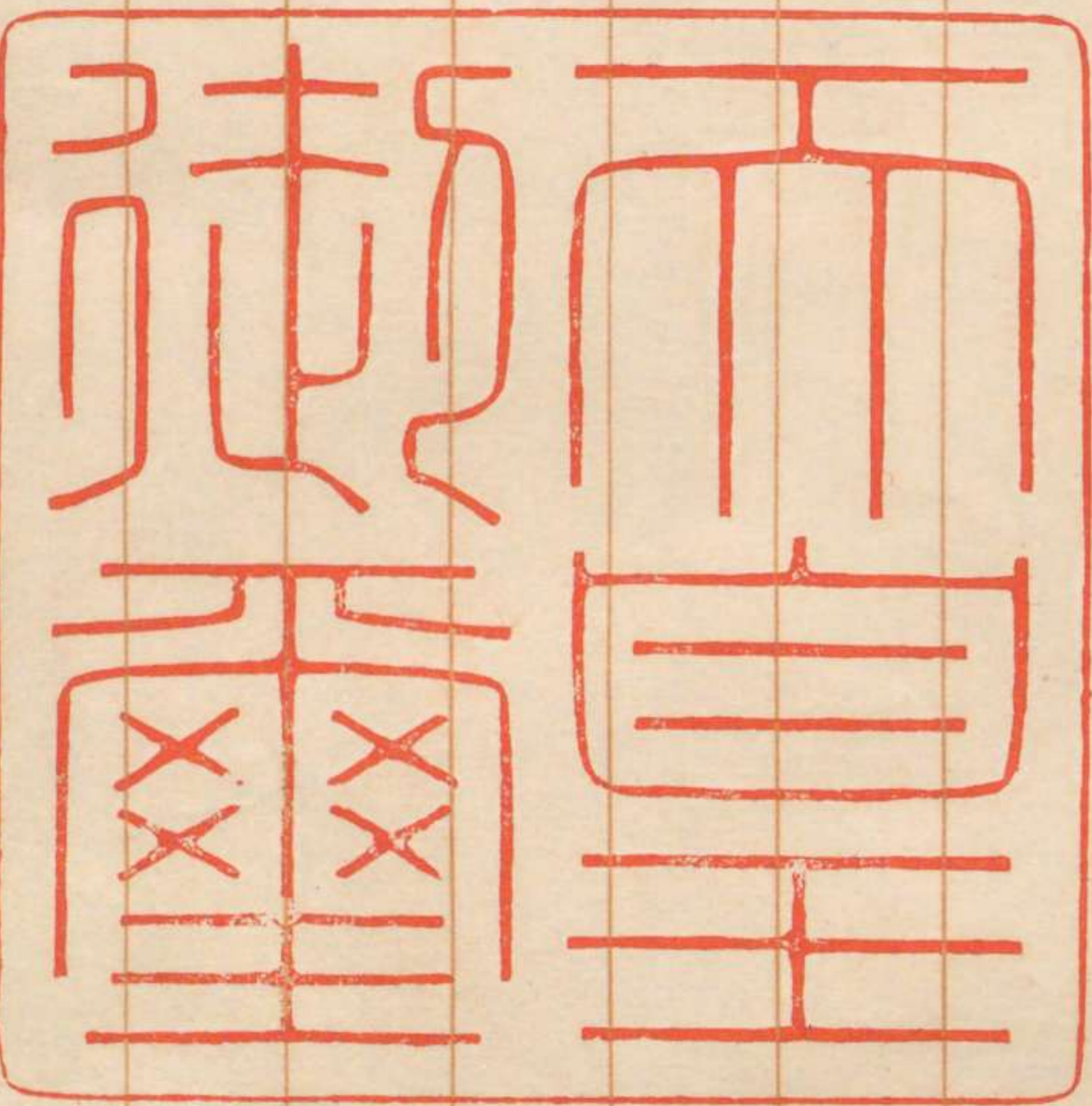


初巻分二百六十五号



朕陸軍經理學校條例ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十三年十一月一日

白
閣

陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第二百六十五號

陸軍經理學校條例

第一條 陸軍經理學校ハ陸軍監督及陸軍軍吏ヲ養成スル所トス

第二條 本校ノ教育ヲ分テ監督教育科及軍吏教科トス

第三條 本校ハ之ヲ東京ニ置キ陸軍省會計局長ノ管理ニ屬ス

第四條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長 一等監督

幹事

監督補

二三等監督

監督補

一二等軍吏

教官

教授

教官ハ定員外他ニ本職アル者ヲシテ兼務セシムルコトヲ得

第五條 校長ハ陸軍省會計局長ニ隸シ校務ヲ總理シ教育ノ方法ヲ規畫シ及學生教育ノ責ニ任ス

第六條 幹事ハ庶務ヲ擔任ス其下ニ陸軍屬ヲ置ク

第七條 教官ノ内監督及教授ハ兩教育科ノ教授ヲ擔任シ軍吏ハ專ラ軍吏教育科ノ教授ヲ擔任ス但翻譯ニ從事セシムルコトアルヘシ

監督教育科

第八條 監督教育科ハ各兵科中尉ノ志願者ヲ募リ監督學生ト為シ陸軍監督ニ必要ナル學術ヲ教授ス

一二等軍吏ニシテ學術才能衆ニ超スル者ハ選抜シテ特ニ監督學生ト為スコトヲ得

第九條 監督學生ノ修學期ハ二箇年トス

第十條 監督學生ノ入學時期竝ニ召集ニ係ル規則ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十一條 監督學生ノ人員及入學試験格例ハ會計局長ノ申稟ニ因リ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

第十二條 監

學セシム

修學上所要ノ諸器具書籍消耗品ハ

之ヲ貸與シ又ハ支給ス

第十三條 監督學生ノ修學期ハ原所管ニ

存置之尚ホ入學中ハ本校ノ管轄ニ屬ス

故ニ自己ノ願居等ハ總テ本校ノ官

僚ニ準ス又原所管ヨリ本人ニ達ス可

キ諸件ハ必ス本校長ヲ經由スルモノ

トス



一二等軍吏ニシテ學術不能衆ニ超
ル者ハ選抜シテ特ニ監督學生ト為ス
コトヲ得

第九條 監督學生ノ修學期ハ二箇年ト
ス

第十條 監督學生ノ學時期竝ニ召集
ニ係ル規則ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十一條 監督學生ノ人員及入學試験
格例ハ會計官ノ中稟ニ因リ毎年陸
軍大臣之ヲ



第十二條 監督學生ハ校外ニ居住シ通
學セシム

修學上所要ノ諸器具及書籍消耗品ハ
之ヲ貸與シ又ハ支給ス

第十三條 監督學生ノ名籍ハ原所管ニ
存置之尚ホ入學中ハ本校ノ管轄ニ屬
ス故ニ自己ノ願届等ハ總テ本校ノ官
僚ニ準ス又原所管ヨリ本人ニ達ス可
キ諸件ハ必ス本校長ヲ經由スルモノ
トス

第十四條 監督學生修學中卒業ノ目途
ナキ者ハ詮議ノ上退學ヲ命シ原所管
ニ復歸セシム

第十五條 監督學生ハ每學年ノ末ニ大試
驗ヲ施行シ第二學年ノ末ニ於テ及第
スル者ニハ監督適任證書ヲ附與シ原
所管ニ復歸セシメ所要ニ當リ列序ニ
從ヒ陸軍監督補ニ任ス
中尉ニシテ右適任證書ヲ有スル者ハ
本人ノ願ニ因リ所管地ノ監督部ニ於

テ實務ヲ見學スルコトヲ許ス但其旅
費ハ自辨トス

第十六條 監督學生修學中傷痍疾病ノ
為メ大試験ヲ受クルコト能ハサル者
アルトキハ詮議ノ上尚ホ若干月修學
ヲ許シ又ハ特ニ本人ノ為メニ大試験
ヲ施行スルコトアルヘシ

軍吏教育科

第十七條 軍吏教育科ハ一等書記ノ内
ヨリ選抜シ竝各兵科曹長ノ志願者ヲ

募リ軍吏學生ト為シ陸軍軍吏ニ必要ナル學術ヲ教授ス

第十八條 營内居住ノ曹長ニ在リテハ入學中營外居住トス

第十九條 軍吏學生ノ修學期ハ十箇月トス

第二十條 第十條乃至第十四條及第十六條ハ軍吏學生ニ適用ス

第二十一條 軍吏學生ハ學期末ニ於テ大試験ヲ施行シ及第スル者ニハ軍吏

適任證書ヲ附與シ原所管ニ復歸セシメ所要ニ當リ列序ニ從ヒ本官ヲ免シ更ニ陸軍三等軍吏ニ任ス

曹長ニシテ右適任證書ヲ有スル者ハ本人ノ願ニ因リ所管地ノ監督部又ハ隊附軍吏ノ許ニ於テ實務ヲ見學スルコトヲ許ス但其旅費ハ自辨トス

